

■ ABSTRACT OF JAPANESE PUBLICATION OF UNEXAMINED UTILITY  
MODEL APPLICATION No. 63-123634 (JP63-123634U)

A button attaching device including: a swinging arm extending upwardly from an end of a table and swingable in a direction toward the other end of the table; and a plunger arranged on a tip end of the swinging arm, the plunger pressed on to an upper side of the table substantially vertically, in which a button-shaped rivet having a head with a plurality of nails arranged on an edge thereof is set in a tip of the plunger, the nails being inserted to a sheet material placed on the table by a pressing force of the plunger, and a pressing board for curving the nails along a curved surface thereof when pressed by tips of the nails of the rivet penetrating the sheet material is arranged on the table at a position on which the plunger abuts.

With the arrangement, the button attaching device can be used for various buttons without restriction of materials of the button, which includes not only plastic but also metal, glass and the like, so that the device has an advantage in practical use and can even be used at home.

BEST AVAILABLE COPY

# 公開実用 昭和63- 123634

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-123634

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月11日

A 41 H 37/10

7150-3B

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ボタン取付具

⑯ 実 願 昭62-16179

⑰ 出 願 昭62(1987)2月6日

⑱ 考 案 者 坪 野 榮 次 埼玉県浦和市岸町3-2-3

⑲ 出 願 人 坪野商事株式会社 東京都台東区三筋2丁目4番9号

⑳ 代 理 人 弁理士 中村 政美 外1名



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

ボタン取付具

### 2. 実用新案登録請求の範囲

基台の一端から上方に延長され、基台の他端方向に揺動自在な揺動腕を形成し、基台の上面に略垂直に圧接するブランジャーを揺動腕の先端に設け、ブランジャーの圧接力で基台上に載置したシート材に差し込む複数本の爪を頭部の周囲縁に設けたボタン状の鋏をブランジャー先端に挿着し、一方、シート材を貫通した鋏の爪先端に圧接され、自身の屈曲面に沿って爪を屈曲せしめる圧接盤を基台上面のブランジャー当接位置に設けたことを特徴とするボタン取付具。

### 3. 考案の詳細な説明

[ 考 案 の 目 的 ]

( 産 業 上 の 利 用 分 野 )

この考案は、衣類等の布地に、飾りボタン等を

---

## 公開実用 昭和63- 123634

---

装着するに好適なボタン取付具に関する。

(従来 of 技術)

従来、布地にボタン等を装着する装置として、プラスチック製ボタンのステムを加熱することでボタンを装着するボタン付装置（特公昭43-16486号公報）や、打圧パンチの下降ストロークによってスナップの雄釦、若しくは雌釦を衣料類に打込み、グリッパーの爪でスナップをかしめるスナップ打込機（特公昭54-36535号公報）などが知られている。

(考案が解決しようとする問題点)

ところが、前者のボタン付装置では、ボタンを加熱変形させて装着するものなので、この装置で装着し得るボタンは、プラスチック等の熱加塑性材に限定される不都合がある。

また、後者のスナップ打込機にあっては、雄釦若しくは雌釦の位置決め機構を打圧パンチの下降ストロークの途次に自動的に定め得る機構としたことで、打込機自体の構成が複雑になり、安価な提供は困難である。したがって、この打込機は、

業者が使用するに好適であるとしても、一般の家庭内で簡便に使用することは難かしいものであった。

そこで、この考案は上述の問題点を解消すべく案出されたもので、プラスチック材はもとより、金属材やガラス材など、ボタンの材質を問わずに装着することができ、一般家庭内でも手軽に使用し得るボタン取付具の提供を目的とする。

#### 〔考 案 の 構 成〕

##### （問題点を解決するための手段）

上述の目的を達成すべくこの考案は、基台の一端から上方に延長され、基台の他端方向に揺動自在な揺動腕を形成し、基台の上面に略垂直に圧接するブランジャーを揺動腕の先端に設け、ブランジャーの圧接力で基台上に載置したシート材に差し込む複数本の爪を頭部の周囲縁に設けたボタン状の鉸をブランジャー先端に挿着し、一方、シート材を貫通した鉸の爪先端に圧接され、自身の屈曲面に沿って爪を屈曲せしめる圧接盤を基台上面のブランジャー当接位置に設けたことを問題解決

---

## 公開実用 昭和63- 123634

---

のための手段とする。

### (作用)

この考案によれば、上下に揺動する揺動腕の先端に設けられたブランジャーは、所定の鉋を自身の先端に嵌着保持する。鉋は、揺動腕を上下に押圧してブランジャー先端を所定の布地面に圧接した際に、鉋の爪先が布地を貫通する。

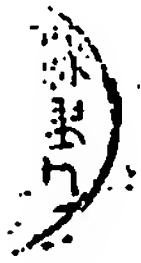
圧接盤は、基台上面における、ブランジャー先端の当接位置に配され、布地を貫通した爪先端に圧接することで、圧接盤面に沿って爪先を屈曲する。

### (実施例)

以下、図面を参照してこの考案の実施例を詳細に説明する。

図に示される符号1は基台を示し、この基台1の一端には揺動腕2を設け、他端上面には圧接盤4を配してある。

揺動腕2は、基台1の一端から上方に延長され、揺動腕2先端が上下に揺動するように設けてある。そして、この揺動腕2先端にブランジャー3を設



ける。

ブランジャー 3 は、揺動腕 2 先端から鉛直下方を向けてあり、ブランジャー 3 先端に所定の紙 5 A を嵌着し保持する。図示例では、揺動腕 2 の先端に屈曲形成した筒体状のホルダー部 2 A 内に、嵌合筒 3 A を嵌着し、揺動腕 2 先端押下時に、この嵌合筒 3 A が鉛直下方を向くようにしてある。

次に、紙 5 A の上端を押圧せしめる押圧部 3 F を自身の下端に形成した押圧杆 3 B を嵌合筒 3 A の内部に連結固定する。第 2 図で示される押圧杆 3 B は、左右に分割自在な嵌合筒 3 A 内に押圧杆 3 B の上端を挿入し、押圧杆 3 B の外側面に突設した係止突部 3 J を嵌合筒 3 A の係止孔 3 H 内に嵌入して連結固定する。

符号 3 C は、ホルダー部 2 A の下端から突出する押圧杆 3 B の下部外側面にスライド自在に装着されるスライド筒を示す。このスライド筒 3 C は、自身の下端部に、所定の紙 5 A を嵌着保持する保持部 3 G を形成してある。

更に、スライド筒 3 C は、押圧杆 3 B の外がわ

---

**公開実用 昭和63- 123634**

---



下部に配したスプリング3Eによって、下方に押圧付勢され、押圧杆3Bの押圧部3F下端より下方に保持部3Gが突出し、この保持部3G突出時に保持部3G内に鉤5Aを嵌着保持する。また、押圧杆3Bとスライド筒3Cとは、押圧杆3Bとスライド筒3Cとを貫通する係止ピン3Dにて連結係止されている。

このように形成したブランジャー3は、ブランジャー3を下方に押し下げた際に、保持部3G下端がシート材S上面に当接する。そして、ブランジャー3を更に押圧して押圧杆3Bを押し上げると、押圧部3Fは保持部3G内からスライド下降して、保持部3G内の鉤5Aを下方に押圧するものである。

鉤5Aは、ブランジャー3の圧接力で基台1上に載置したシート材Sに差し込む複数本の爪5Cを頭部の周囲縁に設けたボタン状を成し、第3図に示す如く、鉤5Aそのものを飾りボタン5とするものであっても、或いは、第4図に示す如く、シート材Sの裏面から鉤5Aを刺し込んで、シー



ト材 S の表面に粒状ボタンに係止することで飾りボタン 5 とするものであっても良い。

符号 4 は、フランジャー 3 によって押し下げられた鋸 5 A の爪 5 C 先端を屈曲せしめる圧接盤を示す。圧接盤 4 は、円盤状を成し、この盤面上には、同芯円状の屈曲面 4 A を設けてあり、この屈曲面 4 A に圧接する鋸 5 A の爪 5 C 先端を、屈曲面 4 A の凹部形状に沿って屈曲させる。

第 3 図で示される圧接盤 4 は、屈曲面 4 A の中央部位を上方に突出させて略リング形状の屈曲面 4 A を形成してある。屈曲面 4 A をこのようにすることで、屈曲面 4 A に沿って屈曲される鋸 5 A の爪 5 C 先端は、屈曲面 4 A 中央の突出方向に沿って屈曲され、鋸 5 A を強固に固着できる。

第 4 図で示される屈曲面 4 A は、断面半円形状を成している。屈曲面 4 A をこのようにすることで、屈曲面 4 A に圧着した鋸 5 A の爪 5 C は、爪 5 C の屈曲がわに、任意形状の粒状物を抱持し得るものとなる。したがって、予め屈曲面 4 A 上面に粒状或いは板体状の粒状ボタン 5 B を載置して

---

## 公開実用 昭和63- 123634

---

おき、シート材 S に固定する鋏 5 A で粒状ボタン 5 B を抱持することができる。

これら種々形状を成した圧接盤 4 を適宜のプレート基盤 4 B 上に複数個形成し、これら圧接盤 4 を選択使用できるように設けることで、鋏 5 A と粒状ボタン 5 B との装着操作を使い分けることが可能となり、しかも、プランジャー 3 を交換して押圧部 3 F と保持部 3 G との径を変更することもできる。

第 1 図のプレート基盤 4 B は、円形プレート状のものを使用しており、この円形プレート基盤 4 B の中心を基台 1 の上面に固定ネジ 6 で回転自在に固定してある。

第 5 図のプレート基盤 4 B は、同じく円形状のプレート基盤 4 B を他の方法で装着した例を示し、プレート基盤 4 B の下面中央から下方に突設した断面角形状の固定杆 7 を基台 1 上面に形成した固定口 1 B に差し込み固定してある。こうする事で、固定杆 7 の角部と同数の圧接盤 4 をプレート基盤 4 B 上面に形成でき、しかも各圧接盤 4 の選択操

作も容易となる。

次に、この考案の使用方法を説明する。

まず、装着しようとする所定の飾りボタン5の外径に適合した保持部3Gを有するブランジャー3を揺動腕2のホルダー部2A内に嵌着固定する。

次に、保持部3G内に嵌入する飾りボタン5の径に適合した圧接盤4をブランジャー3の当接部分に調整配置する。そして、保持部3G内に所望の飾りボタン5を嵌着し、圧接盤4上面に飾りボタン5を装着しようとするシート材Sを載置する。それから揺動腕2の上部を手指にて押圧し、ブランジャー3の下端をシート材S上面に圧接させ、更にブランジャー3を押圧して鉸5Aの爪5C先端を圧接盤4の屈曲面4A屈曲させる。この際、飾りボタン5は、鉸5Aのみを飾りボタン5とするも、また、鉸5Aにガラス製その他の粒状ボタン5Bを抱着させることで飾りボタン5とするも任意に設定できる。

#### 【考案の効果】

この考案は上述の如く構成したことにより、当

---

## 公開実用 昭和63- 123634

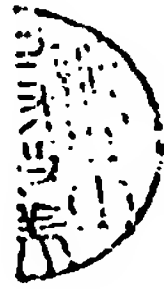
---



初の目的を達成する。

すなわち、基台1の一端から上方に延長され、基台1の他端方向に揺動自在な揺動腕2を形成し、基台1の上面に略垂直に圧接するブランジャー3を揺動腕2の先端に設け、ブランジャー3の圧接力で基台1上に載置したシート材Sに差し込む複数本の爪5Cを頭部の周囲縁に設けたボタン状の鉤5Aをブランジャー3先端に挿着し、一方、シート材Sを貫通した鉤5Aの爪5C先端に圧接され、自身の屈曲面4Aに沿って爪5Cを屈曲せしめる圧接盤4を基台1上面のブランジャー3当接位置に設けたことにより、飾りボタン5を装着する際に、シート材Sと飾りボタン5とを所定位置に配設し、揺動腕2を把持してブランジャー3を下方に押圧するだけで容器に装着できる。

しかも、この考案の主な構成は、揺動腕2腕を形成した基台1と、揺動腕2腕に装着されるブランジャー3とこのブランジャー3圧接される圧接盤4とから成るから、構成部品が極めて少ない。したがって、取り扱いが容易であり、一般の家庭



内でも簡便に使用できる。

更に、ブランジャー3でシート材S面に装着する飾りボタン5は、自身の下端に爪5Cを形成した鉄5Aを装着するから、鉄5Aのみを飾りボタン5とする場合には強力な固定力が得られる。

また、爪5C内に、プラスチック材や金属材、或いはガラス材等からなる種々の粒状ボタン5Bを装着し得るから、好みに適応した材質、形状の飾りボタン5でも容易に装着できる。

このようにこの考案によれば、プラスチック材はもとより、金属材やガラス材など、ボタンの材質を問わずに装着することができ、一般家庭内でも手軽に使用し得るなど、実用上有益な効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面はこの考案の実施例を示し、第1図は斜視図、第2図はブランジャーを示す断面図、第3図は布の表面に金属製の飾りボタンを装飾する工程図、第4図は宝石状に加工した飾りボタンを布の

---

**公開実用 昭和63- 123634**

---

裏面から固定クリップで固定する工程図、第5図は押圧盤の他の装置例を示す分解斜視図である。

1…基台、1B…固定口、2…揺動腕、2A…ホルダー部、2B…支持部、3…ブランジャー、3A…嵌合筒、3B…押圧杆、3C…スライド筒、3D…係止ピン、3E…スプリング、3F…押圧部、3G…保持部、3H…係止孔、3J…係止突部、3K…スライド溝、3L…ピン挿通孔、4…圧接盤、4A…屈曲面、4B…プレート基盤、5…飾りボタン、5A…鋏、5B…粒状ボタン、5C…爪、6…固定ネジ、7…固定杆。

S…シート材。

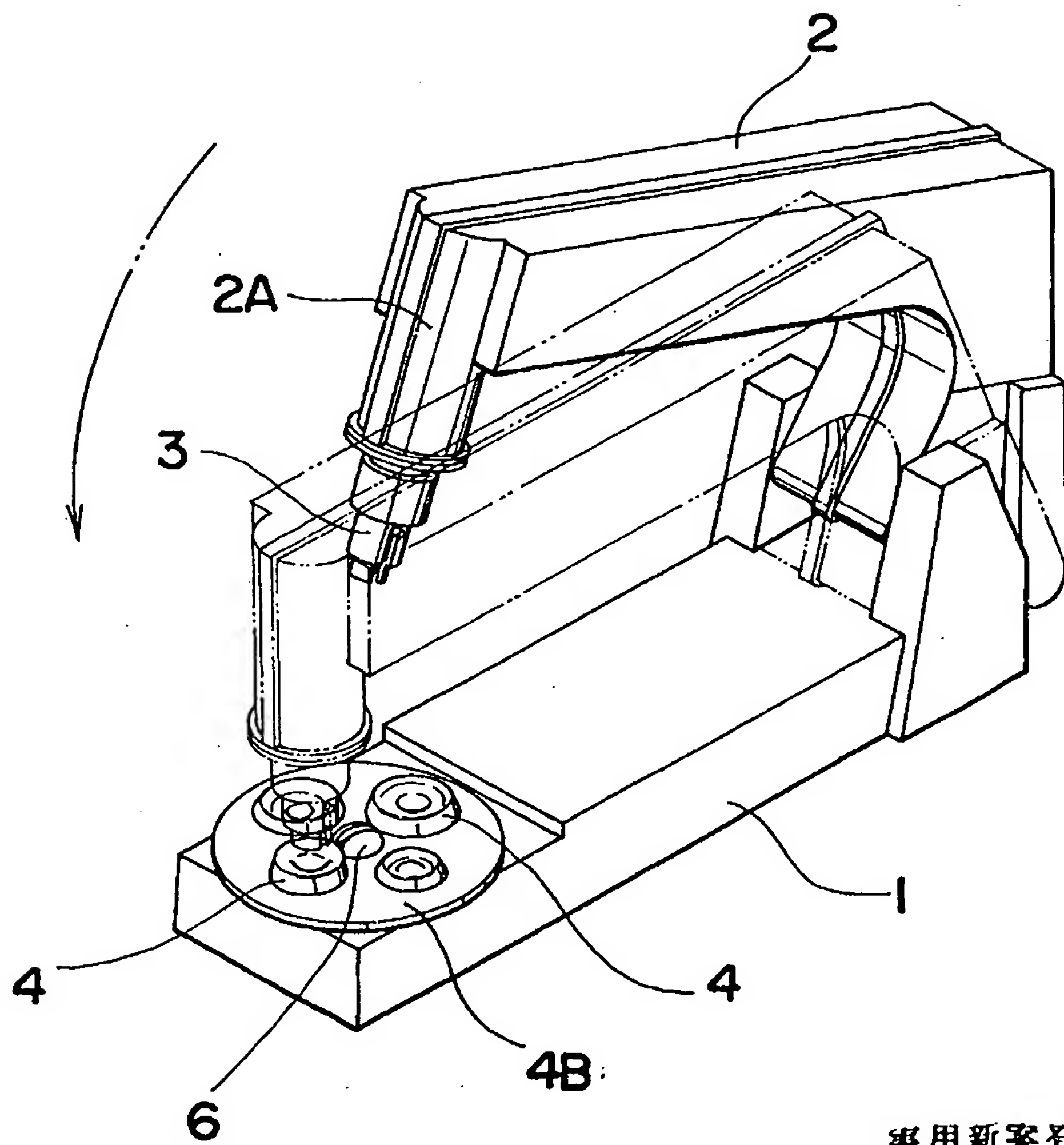
実用新案登録出願人 坪野商事株式会社

代理人 弁理士 中 村 政

外 1 名

287

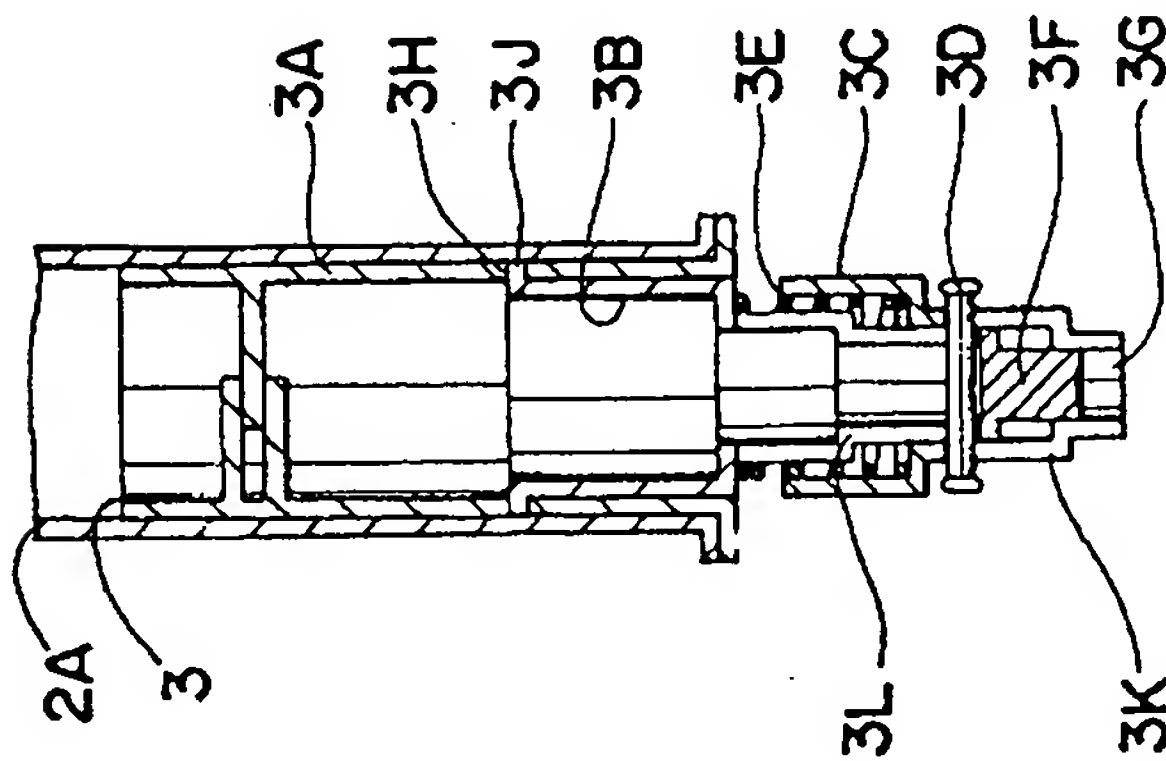
第 1 図



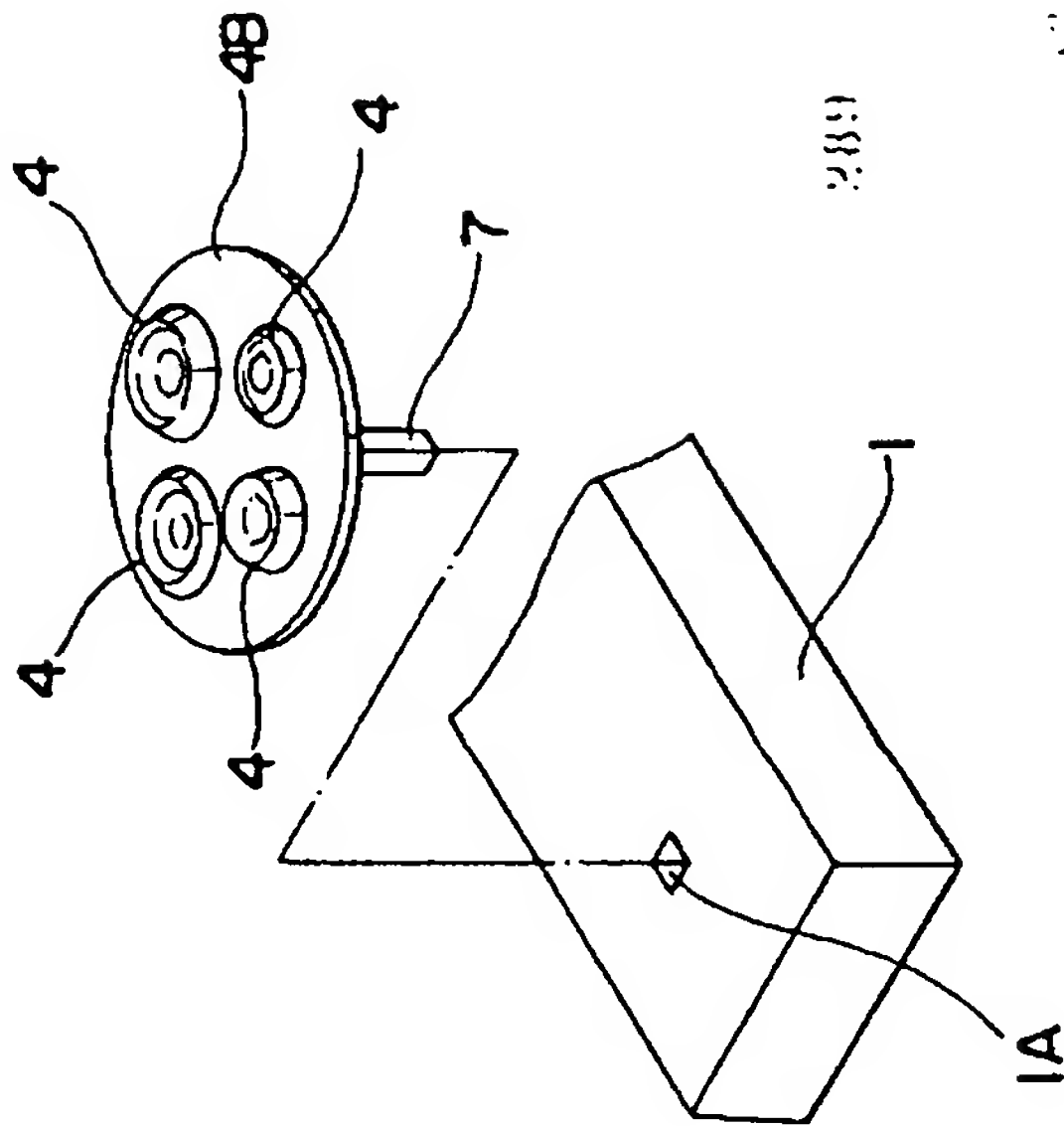
実用新案登録出願人

代理人 弁理

第 2 図



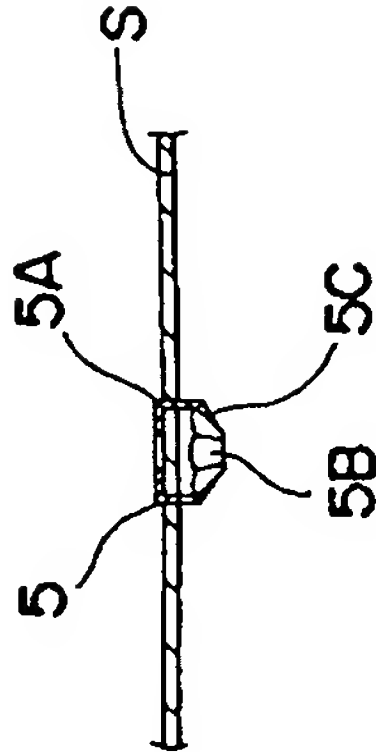
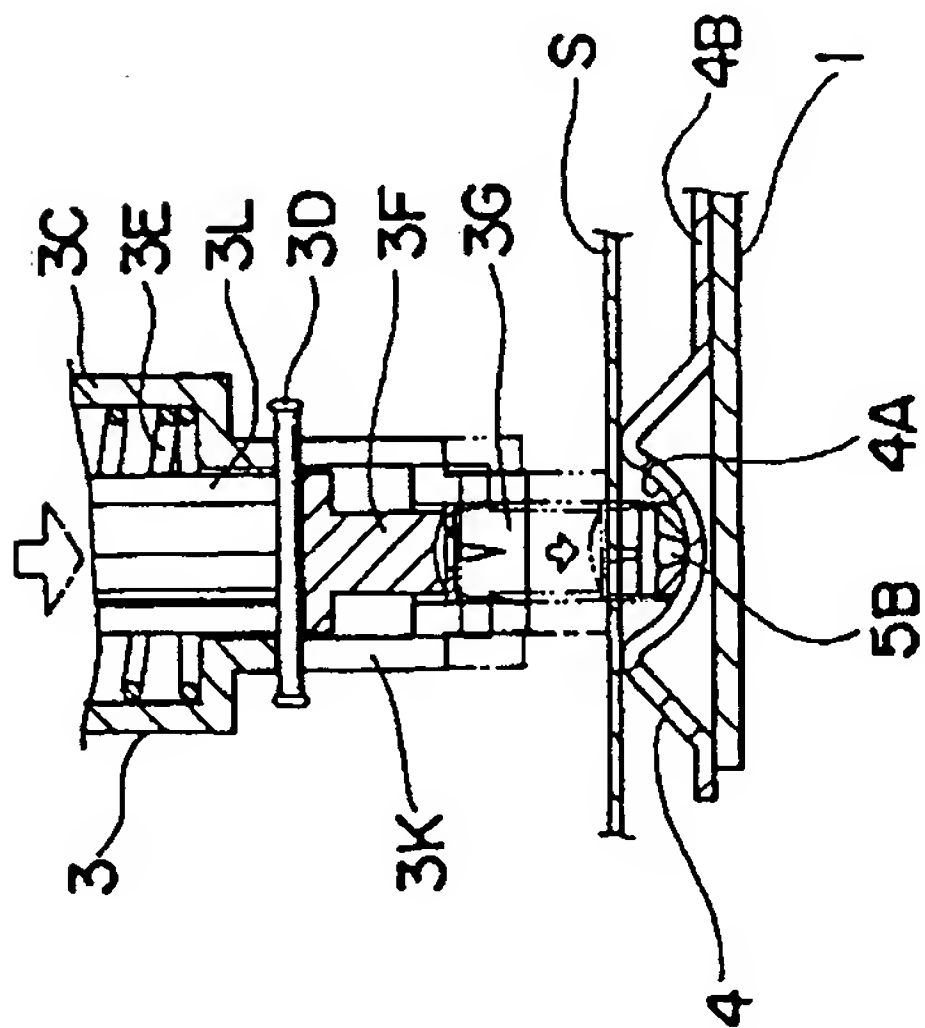
第 5 図



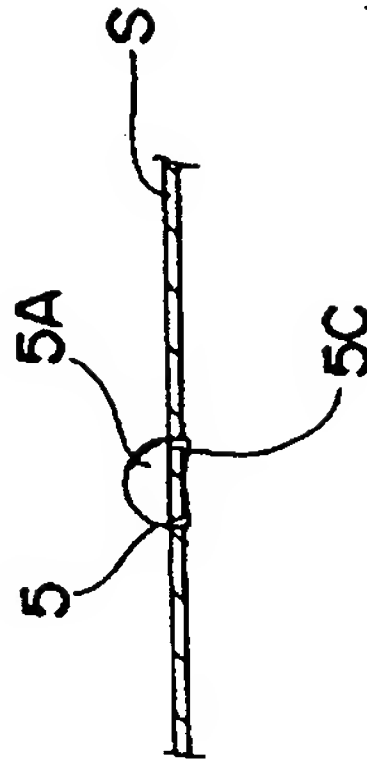
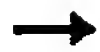
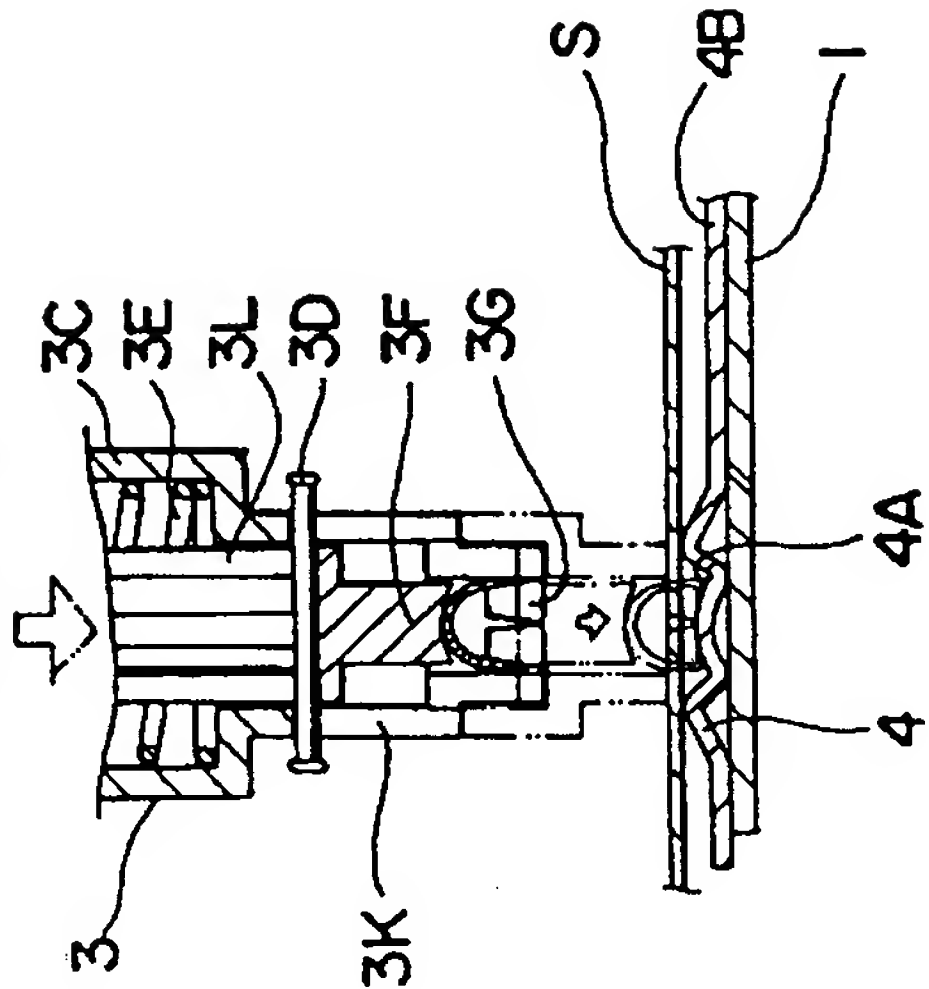
実用新案登録出願人 坪野商事株式会社  
代理人 弁理士 中村政美 1名



第 4 図



第 3 図



発明者 新案登録出願人 坪野商事株式会社

代理人 弁護士 中村政美



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**